

イエスはそう言っている人に答えて、「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか」と言われた。それから、イエスは弟子たちの方の手を伸ばして言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

マタイの福音書 12章 48〜50節

福音を伝えるイエス様に対し、パリサイ人や律法学者の反発は激しさを増し、ついに彼らはイエス様への殺意を抱きます（14）。病む人を癒やし傷ついた人に寄り添うイエス様の生き方に、彼らはなぜ反発をしたのでしょうか。それは彼らの生きる原理が福音を受け入れなかったからです。彼らの生きる原理は律法主義です。自分の力で自分の価値を証明して報いを得ようとする生き方です。この世での評価や実績がすべてで、それがなくなれば人としての価

値がないという価値観です。できない人は排除し、自分自身もできなければ価値を失うので、最終的に残るのは絶望です。彼らは群衆に人気のイエス様を妬み、自分の評価を危ぶみ、イエス様を排除するに至ったのです。それに対してイエス様が提示したのは十字架と復活です（39、40）。罪の企みをその身に引き受けながら、人の力・この世の原理を超えた神の力で救いの道を開きました。そして私たちを神の力に頼る生き方へと招

いておられるのです。

この世の原理ではなくイエス様と共に神の原理に生きるためにはどうすればいいのでしょうか。

一つはイエス様の呼びかけに応えることです。「弟子」（49）とはイエス様の呼びかけに応えそのことばを聴き続ける人です。もう一つは、兄弟性を生きることです。イエス様は弟子たちを家族と呼びました。教会は共同体です。ただの共同体ではありません。自分で選んだのではなく神によって共に集められた人々を受け入れ共に歩むところに兄弟性があります。それは人を受け入れるだけでなく、導かれた神のみこころを受け入れることでもあります。神のみこころに生きることが始まるのです。（泰）

【報告 消息】

・林眞光修養生 17日より石岡教会で
実習奉仕です。本日が最終日で石岡礼拝
での奉仕です。

神学院夏季実習期間は9月末迄です。

9月は沼津、横浜、霊修会での奉仕があ
ります。引き続きお祈りください。
9月頭に夏休みです。

■教勢報告

* 8月15日

第1礼拝 14名

第2礼拝 6名

小学科ホザナ礼拝

小1名 中2名 高1名

■次週(29日)のお知らせ

礼拝には沼津教会主任牧師の荻野倍弘
牧師が説教応援として来蒲されます。

教団総務部長を務めています。また、
泰弘牧師の実兄です。

■お祈りください

* 第63回シオン霊修会

日程 9月19日(日) ～ 20日(月)

講師 岩上敬人師

(JEA総主事、

インマヌエル綜合伝道団)

テーマ「キリストのことばを豊かに」

本日午後に霊修会実行委員会を開催致
します。

当初の予定では、29日に委員会を予
定していましたが、しかしながら、新型コ
ロナウイルスの感染拡大を受け、一週繰
り上げて委員会を行い、対応を検討致し
ます。

検討結果については次回週報で報告の
予定です。聖霊の導きをいただいて、現
状で最善の形で恵みの集会を行うことが
できるようにお祈りください。

